○学期の全校一斉教育相談について

**１．ねらい**

　①　いじめや人間関係のトラブル，学習面など生徒個々のもつ悩みや問題を聞き出し，その解決に向け，生徒と教師が共に考え，行動する契機とする。

　②　日々の生活で，集団の中では捉えにくい思いを，個人的にアプローチすることで把握し，生徒理解につなげる。

　③　全校一斉相談の機会を利用し，生徒と教師の望ましい関係を構築する手だてとする。

**２．実施期間**

　　○学期の中間試験終了後から期末試験１週間前までの期間を，教育相談期間として，放課後の時間を確保する。

**３．実施場所**

　　各教室，または必要に応じて場所を確保する。

**４．実施方法**

　①　事前指導

　　・趣旨説明

　　・個人相談カードの記入

　　・日程を組み，相談の予定を発表

　②　教育相談

　　・相談者は学級担任

　③　事後指導

　　・各学年で情報交換→共通理解

　　・内容により，家庭との連携をとる

**５．留意点**

　①　相談の内容は秘密を厳守することを伝える。

　②　解決が困難な場合は，本人の了承を得て，関係の先生や保護者に相談する。

　③　「共に考えよう」という気持ちで面談にのぞみ，聞き手に徹し，話の途中に善悪の判断を入れない。

　④　解決に時間がかかるような問題には，継続して相談することを約束する。

　⑤　内容によって，他の生徒に指導が必要な場合には，本人の了承を得て，教師の連携を組み，理解と納得を得てから行動する。

個人相談カード

　　　年　　　組　　　番　氏名

|  |  |
| --- | --- |
| 　「○学期の全校一斉教育相談」として，放課後に先生と一人ひとりが話をする機会を設けます。ひとりで悩んでいること，心配なことや困っていることがあれば，この機会に先生に話して下さい。先生方も，少しでも皆さんのプラスになるよう努力したいと思っています。この期間に限らず，心配なことや困っていることがあれば，気軽に相談して下さい。この用紙をもとに相談をしますので，素直な気持ちでありのままを書いて下さい。１．次の中で，先生と話したいと思うことがらに○をつけて下さい。・友人のこと　・学級のこと　・学習のこと　・進路のこと　・部活のこと・家のこと　　・塾のこと　　・身体のこと　・その他２．有意義な教育相談にするために，○をつけたことについて，その内容を簡単に書いて下さい。

|  |
| --- |
|  |

 |

※　１年に２回以上実施する場合、２回目以降は、副担任・教科担任・部活動顧問など生徒が希望する相談相手にするなど、各校において工夫してください。